

東京大学との産学連携のご案内

■総長 五神真からのメッセージ

今日の人類社会が直面している様々な課題に対処するためには、多様な人々が知恵を出し合い、それを活用し、連携協力して行動をおこすことが必要です。こうした状況の中で、特に産学が連携し、大学で行う最先端の知の探求を知の活用へとつなげ、効果的に社会に展開することの重要性が増しています。

東京大学では、トップレベルの教育研究をベースに、毎年500以上の発明を行い、1600件の共同研究を実施し、大学周辺には200を超えるベンチャーを生み出してきました。東京大学は学術を基盤として大学の周囲に発展してきたこれらのエコシステムをさらに進化させます。併せて知財管理や運用の仕組みの高度化と改革を進めます。東京大学は、このような取組みを継続して行うこととともに、教員、学生、社会人が世代を超え、産学が深く混ざり合って協働する「知の協創の世界拠点」としての環境を整備し、社会の課題解決に貢献していきたいと思っております。今後も挑戦を続ける東京大学の産学連携活動に、より一層のご支援を頂ければと思います。

五神 真



■産学連携ならお任せください

①「産学協創」を行いたい



東京大学では大学と企業の多様で本格的、大型の組織間連携を「産学協創」と呼び、積極的に推進してまいります。現在企業の皆様にご提案させていただいている「産学協創」を志向した連携は以下のようなものがあります。

- ✓ 東大と共同で研究組織を創設する
- ✓ 東大の複数部局、複数教員、文理融合での連携を戦略的に進める
- ✓ 東大自身にマーケットがある分野の連携を進める
- ✓ 東京大学と連携する海外機関や国際機関とともにプロジェクトに取り組む



②共同研究先を探索したい

東京大学では、共同研究や受託研究をはじめ、東京大学における産学間での研究活動をさまざまな側面から支援しております。その範囲は、実際に研究活動を開始する際に必要となる契約内容の審査から、共同研究創出に向けた最適なテーマ・パートナー探索、新たな産学連携研究領域の探索、産学間でのネットワークングに及びお手伝いをさせていただいております。

③東京大学関連のベンチャー企業と連携したい



東京大学では過去250社以上の大学関連ベンチャーを生み出し、その時価総額は1兆円を超える規模となっています。これら大学発ベンチャーとの連携も、東京大学の目指す「産学協創」のひとつの姿です。その具体的な取り組みには

- ✓ 東大と一緒にベンチャービジネスを育てる
 - ✓ 東大ベンチャーとの連携と、共同研究を組み合わせたオープンイノベーションを進める
- などがあります。

日本経団連とのあいだでは、東大との共同研究のベンチャーによる事業化などを旨とする「東大・経団連ベンチャー育成会議」も活動準備中です。



<アントレプレナープラザ>

④東京大学の技術の移転を受けたい

東京大学の様々な先端技術と知的財産について「東京大学TLO」が企業へ移転する活動を行っています。大企業だけでなく、中小企業やベンチャー企業などに数多くの技術が移転され実用化されています。

⑤東京大学からベンチャー創業の支援をうけたい

東京大学は「東京大学TLO」と「東京大学エッジキャピタル」との連携によるベンチャー支援を行っています。関連ベンチャー企業にはインキュベーション施設である「東京大学アントレプレナープラザ」も利用していただいています。

2016年にはさらにベンチャーエコシステムの整備を目指す投資事業会社「東京大学協創プラットフォーム開発株式会社」を設立しました。



■お問い合わせ・ご相談はホームページから

産学協創推進本部 <http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/>



<産学連携プラザ>
産学協創推進本部